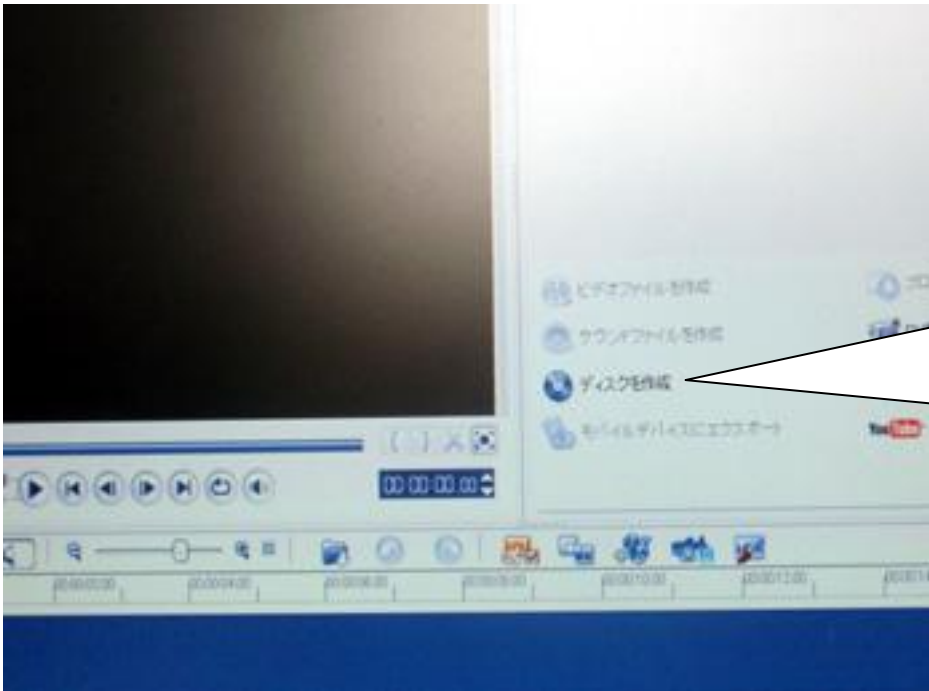


ビデオスタジオでDVDを作る（11月18日橋本勉強会資料）

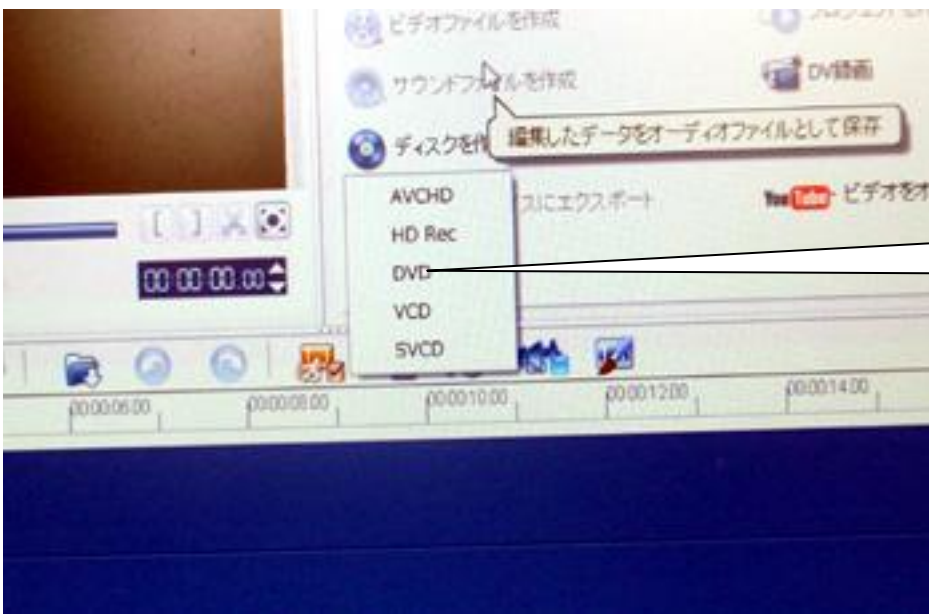
デジカメやビデオカメラで動画を撮ってそれをDVDにする事が出来ます。DVDのメリットはテレビの大型画面で見る事が出来る事やダビングして非営利であれば、細かい配慮は必要ですが配布する事も出来ます。

1)



AVI形式のファイルをDVD (HOV) 形式にします。パソコン本体の性能によりますが、最低でもそのメディアの作成時間はかかります。要するに時間がえらくかかるという事です(笑)。

2)



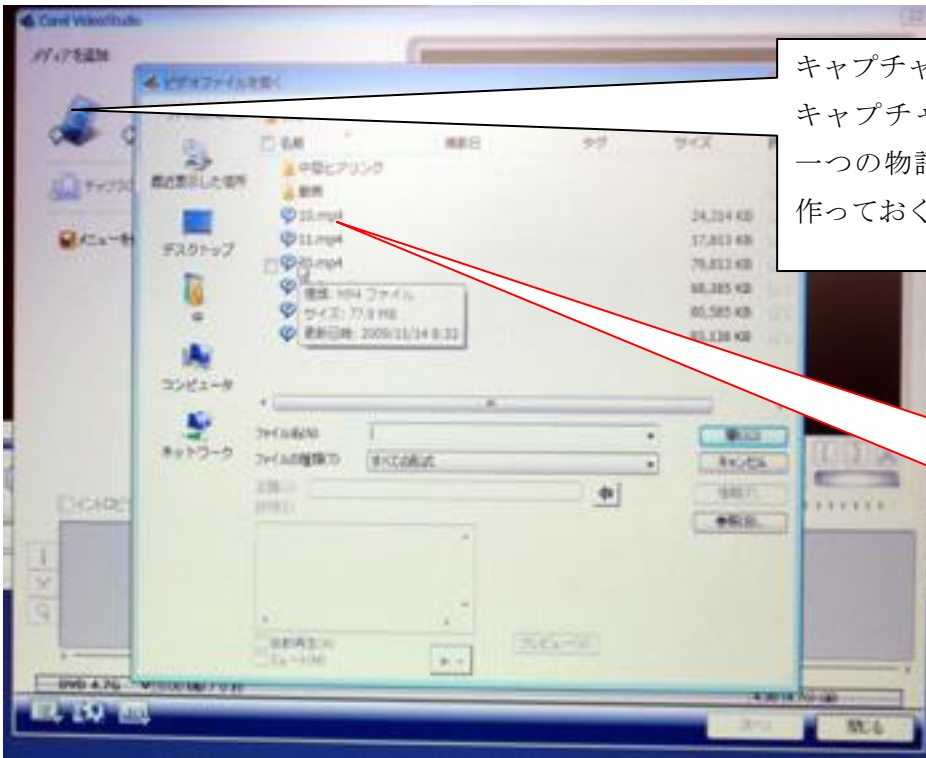
DVDフォーマットを選ぶ

3)



メニューを作るにチェックが入っている事を確認する。

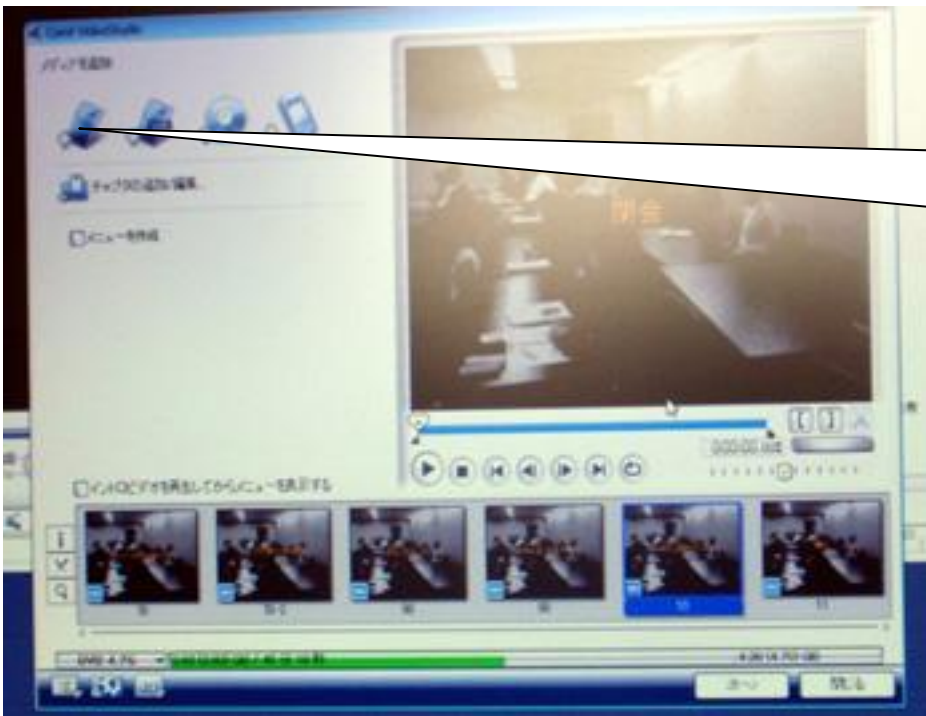
4)



キャプチャーを随時追加していく。
キャプチャーは事前に整理整頓して一つの物語が成立するような体制を作っておく。

ファイルはメインHDDに入れて置く。メインHDDには15G位の空き容量を必要とする。

5)



メインの画面に6コマまでサムネイルが作られるのでその配分を考慮する。

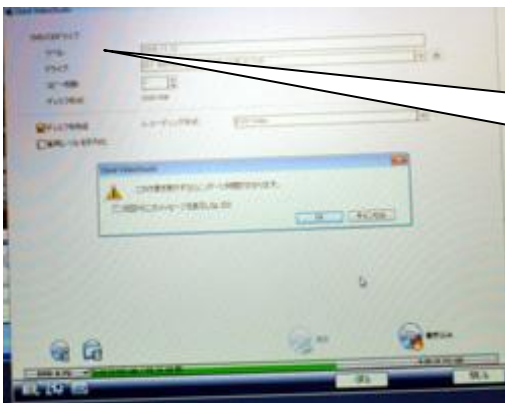
6)



メニューのテンプレートが数種類あるので、用途に合わせて使いこなす。

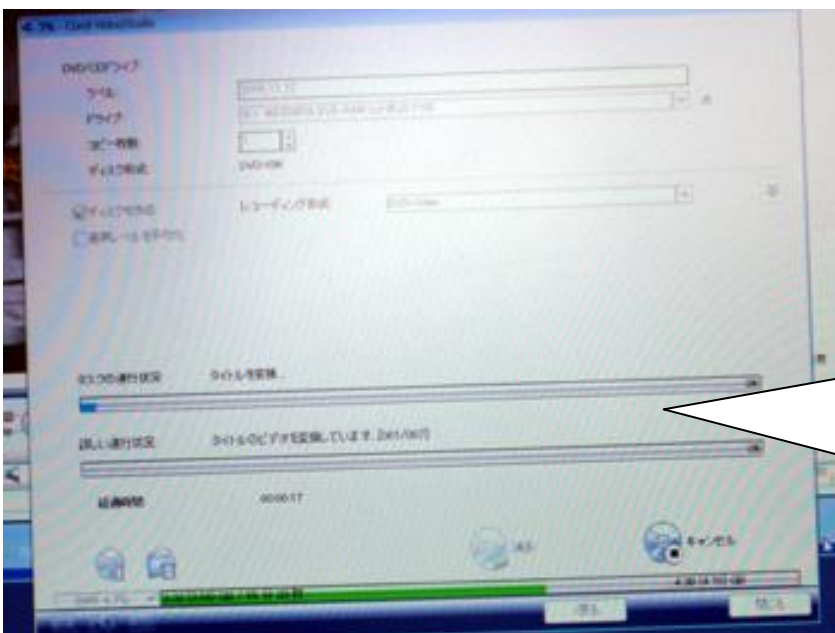
タイトルやサブタイトルを決める。フォントやフォントカラーも決める。背景は自在に変更可能。

7)



ラベルの名前を付けてOKをクリックする。RWだとやり直しが効くがRだと失敗すると廃棄処分になる。

8)



DVD製作が始まる。メインHDD (7200) の場合、1時間のビデオに対して1時間反位時間がかかる。USBやHDD (5200) なんかを使うと約2~3倍の時間がかかる。終わると自動的にDVDが出てくる。(出てこない場合は失敗)